



里海体験ツアー～つた島版～ 開催しました！

- 日 時：2021年10月10日（日）9:30～12:00
- 会 場：大鷲島（三豊市仁尾町）
- 講 師：里海ガイド養成講座（応用）修了生（田中 真利子 氏、山田 富士夫 氏、幸池 麻美 氏）

◆実施内容

かがわ「里海」づくり海辺のおでかけマップにも掲載されている大鷲島を舞台に、島内をスタンプラリーしながら、海に親しむアクティビティを盛り込んだ里海体験ツアーを実施しました。この島は、三豊市仁尾町にある無人島ですが、渡船に乗って5分ほどで島に渡れます。

参加者の多くが、鷲島へ行くのは初めてでワクワクしながら島へ上陸して活動を開始。

(1) 無人島冒険里海スタンプラリー

最初にガイドから巻物状のオリジナルスタンプラリーマップを手渡されると、宝の地図にも見えて一気にワクワク感が高まっていました。その後、巡り方の注意や説明を受けて、島内の散策をスタートしました。

スタンプラリーは島内にあるチェックポイントを巡ってスタンプを押す部分と、アクティビティ体験として出された課題をクリアしないとスタンプが押せない部分で構成されていて、どのように巡るかは参加者次第です。チェックポイントは風景が美しいフォトスポットも含まれており、島のおススメポイントが巡れるように工夫しています。



スタンプラリーの説明



スタンプラリーにワクワク



スタンプを見つけて押す様子



スタンプラリーポイント



ポイントを探す様子



島の裏側の砂浜へ

(2) 里海を楽しむアクティビティ

今回のアクティビティを体験するポイントは、磯の生き物を探してビンゴをする「磯の生き物ビンゴ」、砂浜でスナガニを追いかけたり、巣穴を見つけて砂を掘ってカニを捕まえたりする「カニ採取」、貝殻などの漂着物を拾って標本箱にする「標本箱づくり」の3つです。

磯の生き物ビンゴでは探すのに必死になりつつも、初めて見る生き物のカメノテ、イシダタミ、ヒザラガイなどに興味を持っていました。

スナガニを捕まえる体験では、想像以上に早く動くカニを大人も子どもも夢中で追いかけていました。



磯の生き物ビンゴの様子



磯の生き物ビンゴ



漂着物の標本箱づくり説明



標本箱の例



スナガニの捕まえ方を説明



捕まえたスナガニ

(3) 振り返り

スタンプラリーを終えて、振り返りでは、受講者から「思っている以上に多くの生き物を見ることができた」、「たくさん歩いたけど楽しかった」などの意見がありました。

参加者の中には全てのチェックポイントを巡ったチームもあり、それを見た方々から拍手が起こりました。

半日の活動でしたが、島の魅力や海の魅力、楽しさを感じてもらえたように感じます。



振り返りの様子



全てのポイントをまわったよ



渡船で島をあとにする